

第 71 期

中間事業レポート

2016年4月1日から2016年9月30日まで

■ 株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここにアネスト岩田グループ第71期第2四半期連結累計期間（当中間期：2016年4月1日から2016年9月30日まで）の事業レポートをお届けいたします。

おかげさまで当社は、本年5月に創業90周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様を始めとするステークホルダー各位のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。また、本年度から、「100年企業を目指して」をテーマとして、次なる成長の基盤を確立するための新中期経営計画をスタートさせました。この中で100年企業に向けて、ONLY ONEの商品で、市場毎のNo.1（NUMBER ONE）を目指して、グループの全従業員が一丸（ONE ANEST IWATA）となって挑戦し、お客様満足度の最大化に努め、革新的な技術・製品を常に生み出していく、「真のグローバルワン・エクセレントメカ」となることをミッションといたしました。

新中期経営計画の初年度となる当期では、①専門性の追求、レスポンスの向上、製品開発シナジーを求めて、エアエナジー事業部（圧縮機・膨張機・真空機器）とコーティング事業部（塗装機器・塗装設備・液圧機器）の2大事業部制に移行し、②グローバルエリアにおける推進力充実を目的に、事業毎のグループ会社の強化・再編を行っています。（詳細は、後述「NET WORK」に記載しております。）

当中間期の業績は、円高の影響を受けて売上高14,465百万円（前年同四半期連結累計期間対比0.4%減）、同営業利益1,865百万円（同8.6%減）、経常利益1,855百万円（同19.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,678百万円（同14.2%増）となりました。また、通期の業績予想につきましては、下期想定為替レートを見直して、下表のとおりを見込んでおります。尚、当中間期配当を一株当たり9円とさせていただきます。期末配当予想9円と合わせた年間配当予想は、一株当たり18円を予定しております。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役 社長執行役員

壺田 貴弘

中間連結業績実績

売上高 14,465 百万円 ➡ 前年同期比 0.4% 減	営業利益 1,865 百万円 ↘ 前年同期比 8.6% 減	経常利益 1,855 百万円 ↘ 前年同期比 19.1% 減	親会社株主に帰属する四半期純利益 1,678 百万円 ↗ 前年同期比 14.2% 増	中間期配当金 9.0 円 ↘ 前年同期比 1.0円 減
---	---	--	--	---

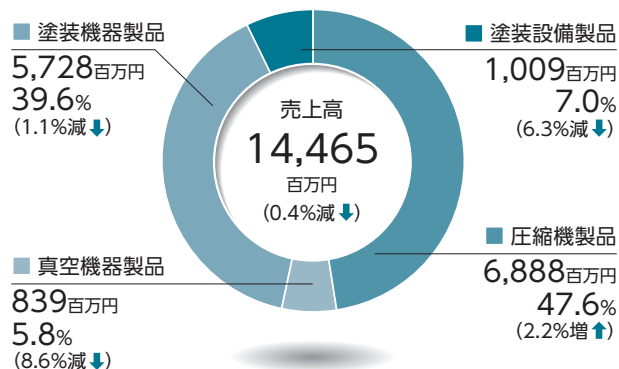
通期連結業績予想

売上高 29,000 百万円 ↘ 前期比 1.8% 減	営業利益 3,600 百万円 ↘ 前期比 5.2% 減	経常利益 3,650 百万円 ↘ 前期比 11.8% 減	親会社株主に帰属する当期純利益 2,750 百万円 ↗ 前期比 6.0% 増	年間配当金 18.0 円 ↘ 前期比 4円 減 (前期は記念配当3円有)
---	---	--	--	---

為替の影響を受け、僅かに減少

当中間期における製品別の売上高は、圧縮機製品が6,888百万円（前年同期比2.2%増）、真空機器製品が839百万円（同8.6%減）、塗装機器製品が5,728百万円（同1.1%減）、塗装設備製品が1,009百万円（同6.3%減）となりました。国内売上比率の高い圧縮機製品は伸長しましたが、海外売上比率の高い塗装機器製品は、現地通貨ベースでは伸長したものの円高の影響を受け、円換算では僅かに減少しました。

圧縮機製品は、国内ではオイルフリースクロールコンプレッサ発売25周年記念の販売キャンペーンを開始、中国では車両搭載用圧縮機が伸長、米国・新興国では医療向け圧縮機のシステム提案が好評を得て伸長しました。真空機器製品は、オイルフリースクロールポンプを一般工業市場向けに展開すべく、国内圧縮機販売を担うアネスト岩田コンプレッサ(株)による真空市場開拓と販路拡大に着手しました。塗装機製品は、国内では創業当時からのコア製品であるスプレーガンの90周年記念モデルを自動車補修市場向けに発売しました。海外では欧州展示会への出展など意欲的な販促活動を推進していま



す。また国内外を問わず環境への意識が高まり、塗装ブース等の環境装置が伸長しました。塗装機製品に属する液圧機器では、製パン・製菓用離型油塗布スプレーガンや食液・各種機能剤を圧送する特殊加圧タンクが伸長しました。自動車の車体製造で多用される高粘度シーリング材塗布用フローガンの新製品を投入しました。塗装設備製品は、当社塗装実験施設を利用した試塗テストで塗装仕上がりを実感いただき、省エネ・省資源・生産性向上を実現する設備提案を実施しています。

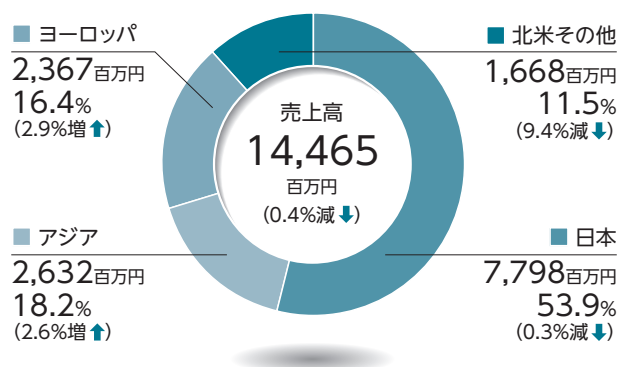
■ 地域別営業概況

ヨーロッパ・アジアで伸長、国内は横ばい

当中間期の地域別では、海外売上高合計は現地通貨ベースでは伸長したものの、円高による為替の影響を受け6,667百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

地域別では、ヨーロッパ・アジアでは伸長したものの、北米その他に含まれる新興国が減少し、合計では僅かに減少しました。

国内売上高は、圧縮機製品・真空機器製品・塗装機器製品は伸長しましたが塗装設備が減少し、合計では7,798百万円（同0.3%減）と僅かに減少となりました。



(注) ここでの地域別売上高とは、地域のお客様への売上高です。ヨーロッパの子会社がヨーロッパのお客様に販売したもの、日本からヨーロッパのお客様に販売したものはヨーロッパ地域の売上高としています。

NETWORK

エアエナジー事業 グループ会社 (●印)



イタリア：1 ドイツ：1 インド：2 日本：3 台湾：1 韓国：1 中国：3 タイ：1
ベトナム：1 インドネシア：1 アメリカ：2 ブラジル：1 オーストラリア：1
★は変動のあった国です。
※エアエナジー事業とコーティング事業を兼務するグループ会社もございます。

コーティング事業 グループ会社 (●印)



イタリア：2 フランス：1 ドイツ：1 スペイン：1 スウェーデン：1
ポーランド：1 イギリス：1 ロシア：1 インド：1
日本：2 台湾：1 中国：5 タイ：1 ベトナム：1 ミャンマー：1 インドネシア：1
アメリカ：2 ブラジル：1 メキシコ：1 オーストラリア：1 南アフリカ：1
アラブ首長国連邦：1

アネスト岩田グループ 90年の歩み

創業者の思いである「誠心（まことのこころ）」を社是として成長してきた90年の歩みを、社名・上場の変遷と、1980年代後半より海外進出し世界に認められた製品開発を中心にふりかえりました。この間に先人が大切にしてきた、「お客様の視点」、「新規性のある製品開発と真心をこめたサービス」、「挑戦、公平公正、チームワーク」は、当社の経営理念に掲げられ、ますますグローバル化するこれからも大切に引き継がれていきます。

1926年	当社の前身、岩田製作所創立	1993年	世界初のドライ（オイルフリー）スクロール真空ポンプ開発
1927年	国産初のスプレーガンの製造・販売を開始	1995年	世界初の樹脂製ピストンのオイルフリーコンプレッサ開発
1928年	小形コンプレッサの製造・販売を開始	1996年	CIを実施し、アネスト岩田株式会社に社名変更
1957年	岩田塗装機工業株式会社を設立	1999年	世界初のV溝付塗料ノズルの低压スプレーガンLPH-400発売
1961年	東京証券取引所へ株式を公開し第二部上場	2005年	世界初のオイルフリーブースタコンプレッサ開発
1962年	塗装設備分野に本格進出	2009年	世界大手の塗料メーカーに認められたスプレーガンWS-400開発
1969年	国産初の空冷二段・中形コンプレッサ開発	2013年	小形バイナリー発電装置を開発し、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託・開発テーマに採択
1972年	秋田県大曲市にスプレーガン製造の子会社設立 東北岩田塗装機株式会社（現秋田工場）	2015年	オイルフリースクロールコンプレッサ世界最大出力の7.5kW機開発
1973年	東京証券取引所第一部に上場	2016年	創業90周年を迎える
1975年	福島県矢吹町に小形コンプレッサ製造の子会社設立 福島岩田塗装機株式会社（現福島工場）		
1985年	世界初の多関節電動塗装ロボットを開発		
1991年	世界初のオイルフリースクロールコンプレッサ開発		

■ CSRトピックス

地域の方々と創業90周年感謝祭

横浜本社と福島工場の2事業所で、地域の方々を招いた創業90周年感謝祭を開催しました。横浜では約1,200名の方々に、ご来場いただき、ショールームの見学や当社製品を利用した体験型イベント（エアーブラシアート、真空釣堀、空気のふしぎ実験、空気圧射的、空気圧ロケット、塗装ロボット実演、塗装シミュレーション、カート組立等）、パフォーマーによるショー（ヒーローショー、マジック、大道芸、和太鼓、チアリーダーディング等）、働く自動車の展示、グルメ屋台などのイベントを通じて、楽しい時間を過ごしていただきました。福島工場では、横浜と同様のイベントの他、工場内を解放し普段ご覧いただけない生産工程を見学いただきました。

横浜本社は、1962年に圧縮機の一貫工場として稼働し、地域の方々に支えられながら50年以上が経過しました。福島工場は、圧縮機・真空機器生産の専用工場として1975年に進出し、本格操業から40年を超えて稼働しています。今回のイベントを通じて、地域の方々に感謝をお伝えし、当社に対する理解を深めていただくことができました。

これからも地域社会に貢献する企業を目指して、皆様と共に歩んでまいります。



本社のイベント会場



福島工場の歓迎アーチ



本社の歓迎アーチ

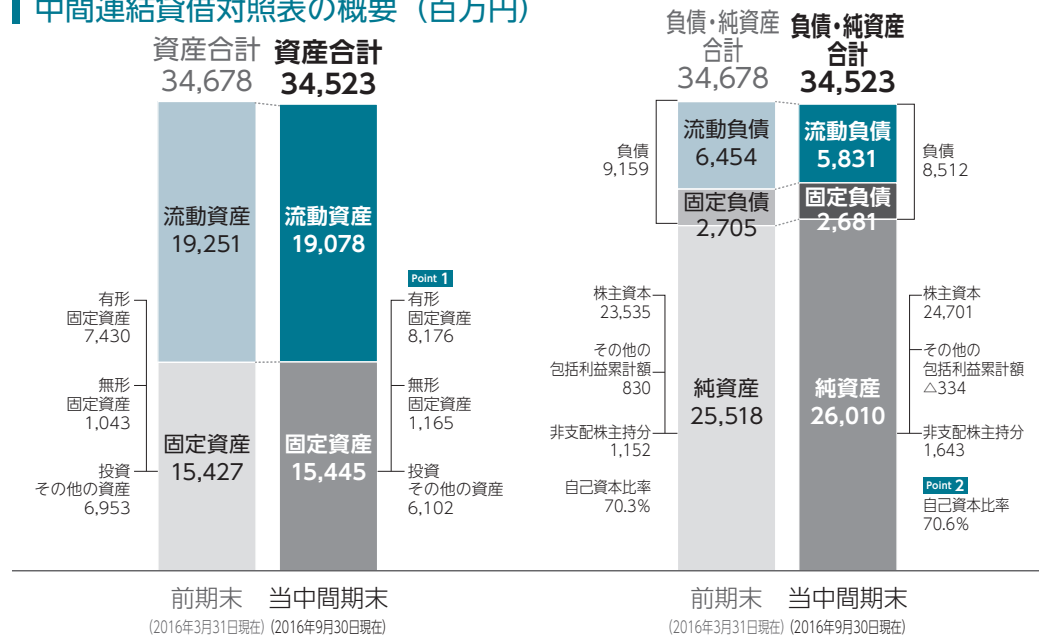


福島工場のイベント会場

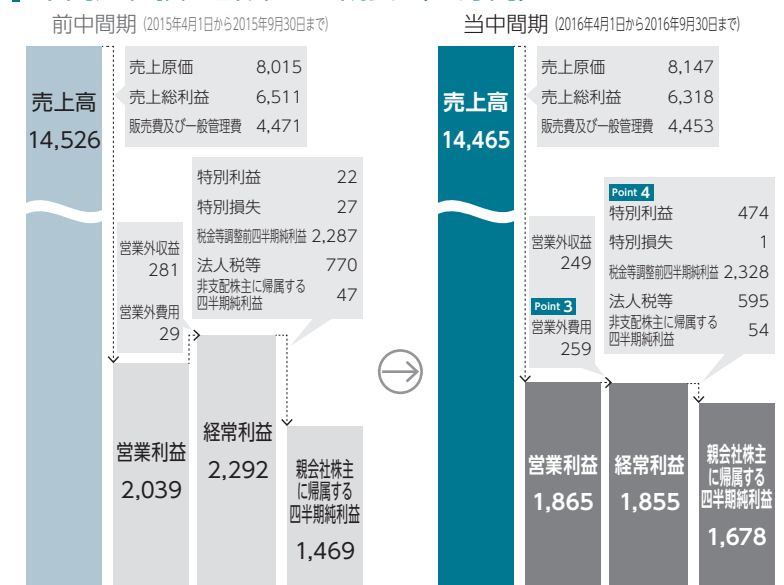
■ 連結財務データ

Consolidated Financial Data

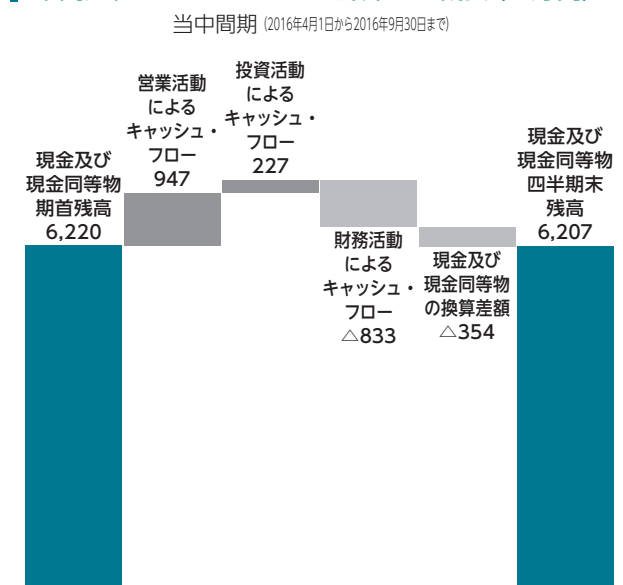
■ 中間連結貸借対照表の概要（百万円）



■ 中間連結損益計算書の概要（百万円）



■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要（百万円）



より詳細なデータについては

アネスト岩田 IR 検索

Point 1 有形固定資産

主に、Point4の連結子会社化に伴い、所有の土地、建物等が増加したことによるものです。

Point 2 自己資本比率

自己資本比率は、前期末より0.3ポイント増加し、70.6%になりました。

Point 3 営業外費用

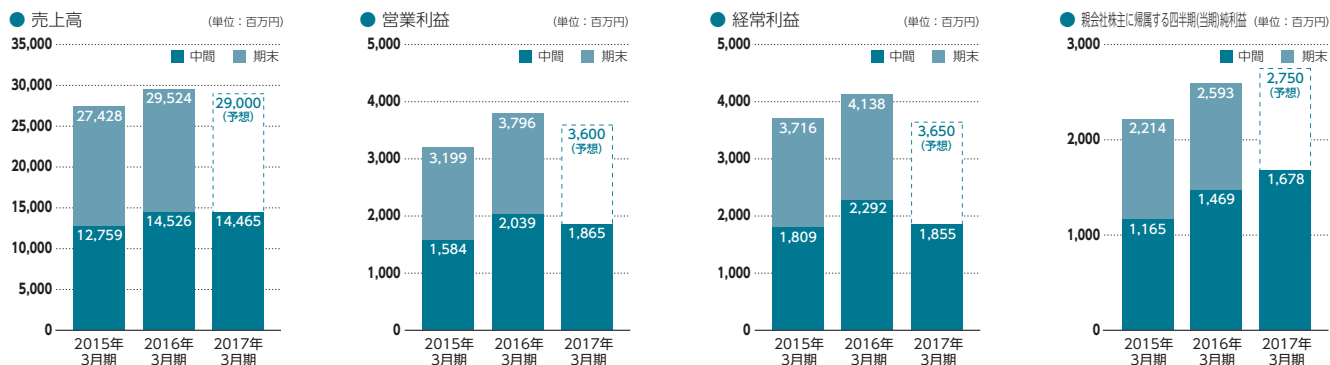
円高が進み、為替差損が242百万円発生しました。

Point 4 特別利益

台湾と中国の製造会社を連結子会社化したことにより450百万円の特別利益が発生しました。

■ 連結業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights



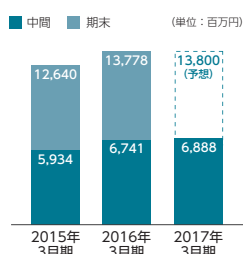
■ セグメント情報

Segment Of Statements

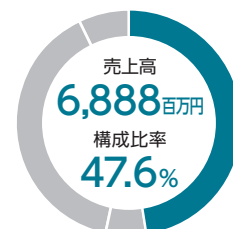
■ 圧縮機製品 コンプレッサ・窒素発生装置



オイルフリースクロール圧縮機本体 (7.5kW)



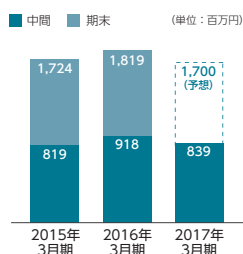
- ▶ 国内では、高効率運転と省エネ性に優れた圧縮機が堅調に推移し、伸長しました。
- ▶ 海外では、米国・欧州・中国・アセアン・インドの主要エリア全てにおいて、技術的独自性が高いオイルフリースクロール圧縮機が、大きく伸長しました。成長戦略市場であるトランスポーテーション（車載用）及び医療ガス設備向け圧縮機システムが国内外で高く評価されはじめています。
- ▶ 全体では、前年同期比2.2%増加となりました。



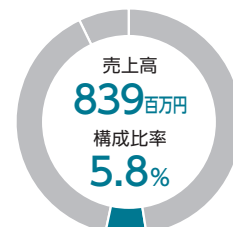
■ 真空機器製品 ドライスクロール真空ポンプ



DVSLドライスクロール真空ポンプ



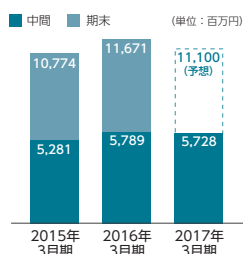
- ▶ 国内では、研究機関向けの販売が堅調に推移し、一般工業向けは拡大しました。今後は圧縮機の販売を担うアネスト岩田コンプレッサ(株)による市場開拓と販路拡大をすすめ、更に一般工業市場での伸長を図ります。
- ▶ 海外では、米国・中国の装置メーカーや研究機関向けに回復が見られましたが、他の地域が伸びず、減少しました。
- ▶ 全体では、前年同期比8.6%減少となりました。



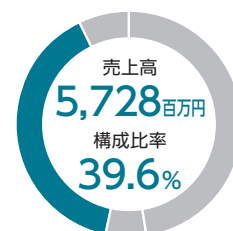
■ 塗装機器製品 スプレーガン・静電塗装機・塗料供給装置・液圧機器



ゴールド仕様の創業90周年記念モデル



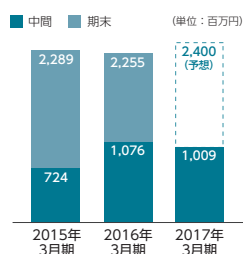
- ▶ 国内では、有害化学物質のリスクアセスメント義務化により需要が拡大した塗装用ブースと90周年記念モデルのスプレーガンが伸長しました。また、塗装機器の塗装以外への用途開発を進めており、小規模ながら伸長しました。
- ▶ 海外では、新商品投入やキャンペーンを積極的に実行した欧州は伸長しましたが、北米・アジアでは伸長が見られず、更に為替の影響を受けたため、海外では減少しました。
- ▶ 全体では、前年同期比1.1%減少となりました。



■ 塗装設備製品 自動塗装装置・塗装プラント・塗装ロボット・環境装置



SWAN 塗装ロボットシステム



- ▶ 国内では、自動車部品産業を主とした設備投資案件は堅調に推移しましたが、当中間期末までの納入完了物件が少なく、減少しました。
- ▶ 海外では、中国の設備投資に回復の遅れがあるものの東南アジアが伸長し、増加しました。また、北米エリアにおける自動車部品産業への深耕に向け、メキシコに連結子会社を設立しました。
- ▶ 全体では、前年同期比6.3%減少となりました。

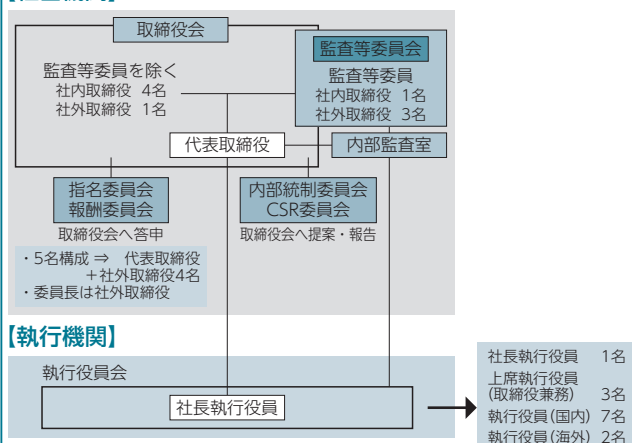


会社の概要

商 号	アネスト岩田株式会社 (ANEST IWATA Corporation)
創 業	1926年5月1日
設 立	1948年6月2日
資 本 金	3,354,353,175円
従 業 員 数	464名 (連結・関連会社含む1,399名)
本 社	横浜市港北区新吉田町3176番地
工 場	秋田、福島
営 業 拠 点 等	仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

体制と役員氏名

【経営機関】



【取締役・監査等委員である取締役】

代表取締役	壺田 貴弘	取締役 監査等委員	岩田 一
取締役	古賀 弘志	社外取締役 監査等委員	大島 恭輔
取締役	塚本 真也	社外取締役 監査等委員	高山 昌茂
取締役	鈴木 正人	社外取締役 監査等委員	森 敏文
社外取締役	米田 康三		

【執行役員】

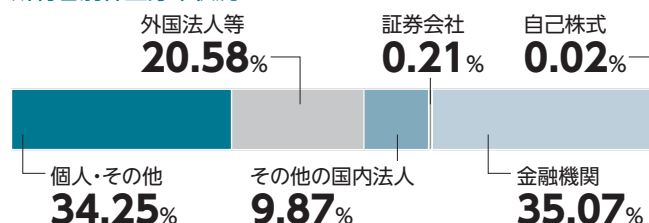
社長執行役員	壺田 貴弘	・執行役員 国内：7名	
・上席執行役員：3名		液圧機器部長	大沢 健一
経営管理部長	古賀 弘志	福島工場長	深瀬 真一
エアエナジー事業部長	塚本 真也	コーティングシステム部長	武田 克己
コーティング事業部長	鈴木 正人	コーティング事業部	三好 栄祐
・執行役員 海外：2名		国内販売会社 社長	
ヨーロッパ統括	Marco G. Vicentini	品質保証部長	橋本 隆司
北米統括	Gary Glass	経営企画部長	鷹野 巧一
		エアエナジー事業部	電原 信和

(2016年10月就任)

株式の状況

発行可能株式総数	189,290,000株
発行済株式の総数	41,745,505株
株主数	2,810名

所有者別株主分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	2,272	5.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,251	5.39
アネスト岩田得意先持株会	1,903	4.56
アネスト岩田仕入先持株会	1,872	4.49
明治安田生命保険相互会社	1,520	3.64

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
【郵便物送付先】	〒168-8507
【電話お問い合わせ先】	東京都杉並区和泉二丁目8番4号
	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
	フリーダイヤル 0120-288-324
	(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
	【取扱店】
	みずほ証券株式会社及びみずほ信託銀行株式会社
	全国各支店

公 告 方 法 電子公告 (下記 当社ホームページにて掲載)。ただし、事故その他の事由で電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の各種手続きについて

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求書その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きは買取・買増請求書を含め、上記の特別口座の管理機関 (みずほ信託銀行) にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元 (100株) 未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式は、証券市場で売買できません。しかし、株主様は当社に対して単元未満株式の買取 (株主様の売却) または買増 (株主様の購入) をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元株式に整理することができます。ご希望の方はお取引のある口座管理機関にお問い合わせください。

【お知らせ】株券を預託しなかった株主様へ

株券電子化の前に証券会社等を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に株券を預託しなかった株主様の株式については、特別口座管理機関 (みずほ信託銀行) にて管理しており、これを特別口座といいます。そのままでは市場での売却ができない等の制約がありますので、お心当たりの株主様は、お早めに取引のある証券会社への振替をお願いします。お手続きの詳細は、上記のみずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見通しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(株主様お問い合わせ先)



アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町3176番地

IR広報室 TEL (045) 591-9344 FAX (045) 591-9398

ホームページアドレス <http://www.anest-iwata.co.jp>

アネスト岩田 検索

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

